

事業年報Vol.52 令和4年度報告

## VI～X 各種報告

---

VI 健康支援

VII 環境調査

VIII 精密検査外来

IX 画像検査オーダーシステム

X 事業報告

# 健康支援

健診機関が行う事後指導・保健指導などの健康支援事業は、予防医学において重要な位置づけにある。当協会では保健師、管理栄養士、健康運動指導士、公認心理師ら専門スタッフがその役割を担い、一人ひとりの健康づくりをサポートしている。特定保健指導においてはICT（情報通信技術）を活用した遠隔支援や健診当日に行う保健指導を導入し、実績も増加している。また、市町村・事業所・学校などで健康支援に携わっている方を対象とした講習会やセミナーの開催、健康げんき倶楽部（気楽良）・ヘルシーレストラン（食楽良）の利用者に向けた啓発活動など、一次予防を目的としたサービスを行っている。

## 1. 健診の事後措置

### ■集団健診の対応

各団体が主催する事後指導会で、健診の結果説明を行っている。令和4年度の事後指導実施団体は、6市町村、43事業所、2学校の計51団体であった。市町村では27回実施し、主に保健師と管理栄養士が対応した。事業所では135回実施し、保健師、管理栄養士、公認心理師が対応した。学校では3回実施し、保健師、管理栄養士が対応した（表1）。総実施回数は165回（前年度比111.5%）で、前年度を上回った。

表1 集団健診の事後指導実施状況

団 体	団体数	回数	派遣スタッフ			
			保健師	管理栄養士	健康運動指導士	公認心理師
計	51	165	32	9	0	68
市町村	6	27	11	4	0	0
事業所	43	135	20	3	0	68
学 校	2	3	1	2	0	0

### ■個別の指導・相談

人間ドックにおいて、保健師、管理栄養士による個別相談を実施した。令和4年度の実施数は保健指導1,298人、栄養指導599人であった。専門ドックでは個別相談を18人実施した（表2）。また、労災保険二次健康診断対象者の395人に保健指導を実施した（表2）。総実施人数は2,310人（前年度比82.7%）で、前年度を下回った。

表2 個別の指導・相談実施状況

計	内 容	人数
		2,310
人 間 ド ッ ク	保健指導	1,298
	栄養指導	599
専 門 ド ッ ク	個別相談	18
労災保険二次健康診断	保健指導	395

## 2. 講演会講師派遣

令和4年度の講師派遣は、66団体215回（前年度比136.9%）であった。

表1 団体内訳

団体	団体数	回数	主なテーマ
計	66	215	
市町村	3	49	コグニサイズ、免疫力アップの健康づくり
事業所	63	166	健診結果の見方、ストレスとセルフケア
学校	0	0	

表2 職種別内訳

215回

職種	地域部門	産業部門	学校部門
計	49	166	0
医師	0	4	0
保健師	2	38	0
管理栄養士	4	10	0
健康運動指導士	40	21	0
公認心理師	0	23	0
労働衛生コンサルタント	0	70	0
看護師	0	0	0
その他	3	0	0

## 3. 定期健康相談事業

### ■事業内容

団体から年間契約で委託を受け、健康管理や健康支援を定期的に行っている。

事業所に対し、健康診断の事後措置、職員の健康管理、健康セミナー、健康相談を実施した。また、職場巡視、作業環境管理のアドバイス、衛生委員会出席などを、産業医・事業主・衛生管理者等と連携を取り実施した。

### ■実施状況

令和4年度の委託事業所は5団体、143回（前年度比94.7%）実施した。専門スタッフの派遣は、保健師138回、公認心理師5回であった（表1）。

表1 定期健康相談事業

団体	団体数	回数	派遣スタッフ
計	5	143	
事業所	5	138	保健師
		5	公認心理師

## 4. 相談員派遣

令和4年度、岩手産業保健総合支援センターの産業保健相談業務として13回派遣した。

## 5. 電話相談

当協会で開催している健康診断結果・検査等に関する相談や地域医療機関への情報提供等 780件（前年度比91.1%）の電話相談に対応した。

## 6. 特定保健指導

令和4年度の初回面接実施団体は、前年度より2団体減少し37団体であった。実施人数は、動機付け支援1,468人、積極的支援1,451人、合わせて2,919人であり、前年度から786人増加した。

表1 部門別内訳

区 分		初回面接実施人数	
		地域部門（10団体）	産業部門（27団体）
計	2,919	415	2,504
動機付け支援	1,468	375	1,093
積極的支援	1,451	40	1,411

## 7. 研修会等開催

健康教育研究会を開催した。詳細は『事業報告』『研修会等の開催』参照。

## 8. 健康げんき倶楽部（<sup>きらら</sup>気楽良）

健康運動指導士・保健師・管理栄養士といった専門スタッフによるトータルヘルスサポートサービス。それぞれの目的に応じたプログラムを提案し、体組成測定による成果確認を毎月実施する。月会費制で、令和5年3月現在の会員数は271人。

## 9. 健康講座等の開催

当施設において、健康講座（ココロカラダヨロコブ講座）等を開催。

表1 内訳

区 分	回数、団体数	人 数	主な内容
ココロカラダヨロコブ講座	9	66	運動、栄養、保健、メンタルヘルス
レストランを活用した食育活動	7	329	減塩レシピと試食品の提供
施設見学	0	0	コロナ感染拡大防止のため令和4年度は中止

## 10. メンタルヘルス

ストレスチェック後に医師による高ストレス者への面接、公認心理師による保健相談等を実施。令和4年度は医師面接201件、保健相談等87件だった。

## 11. ヘルシーレストラン食楽良（食楽良）

「食を楽しむ良い人生を」をコンセプトに食事の「バランス」「適量」「適塩」を体験できるレストラン。令和4年度のランチ、スイーツの提供数は15,487食だった。また、毎月28日の「いわて減塩、適塩の日」にあわせ、お客様を対象に管理栄養士が減塩レシピと試食品の提供を行い、食育活動を行った。

# 環境調査

作業環境測定は有害物質の濃度や有害エネルギーなどの物理量を測定し作業環境評価を行うもので、環境改善のための工学的対策を講ずる重要な情報となる。種々の有害要因を減少させ、作業環境を適正に保ち、働く人々の健康障害を防止するための作業環境管理の基本となるものである。また、個々の労働者の有害物ばく露の管理手法として、個人サンプラーを労働者に装着して有害化学物質による個人ばく露濃度を推定する測定は、作業方法の改善や保護具管理の重要な情報となっている。公共の建築物や学校などにおける揮発性有機化合物等の測定や、ダニ又はアレルゲン検査、公衆浴場などのレジオネラ属菌検査は化学物質や細菌等により健康を害することがないように管理が求められている。

## ■実施状況

令和4年度の測定総件数は19,664件（前年度19,194件）で、前年度に対し102.4%と微増であった（図1）。

作業環境測定（労働安全衛生法第65条によるもの又は準ずる測定）は延べ606事業場、延単位作業場所2,571箇所を実施し、測定件数は19,111件であった（表1）。作業環境測定であるが、評価基準による評価をしない測定（溶接ヒューム、局所排気装置検査など）をその他の項目としており、341件実施した（表1）。

作業環境測定以外の環境測定は、学校及び公共施設の室内空気環境中の揮発性有機化合物（VOC）の測定を中心に553件実施した。その内訳は、揮発性有機化合物（VOC）の測定が419件、ダニ又はダニアレルゲンの検査が92件、レジオネラ属菌検査が10件であった（表2）。

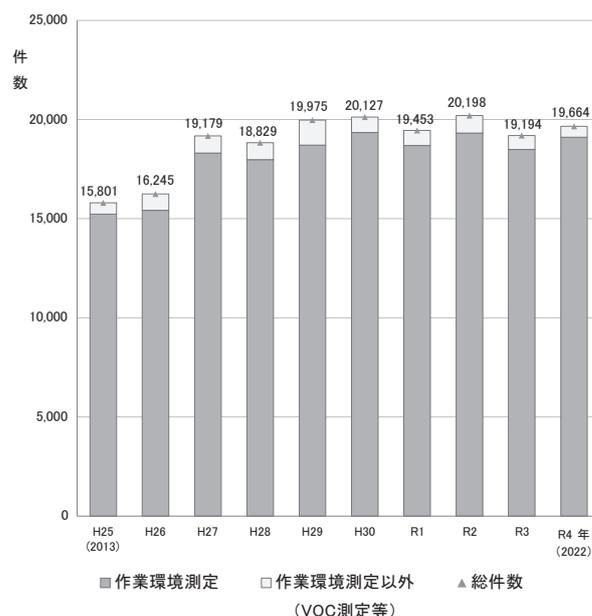
## ■検査成績

作業環境測定における延単位作業場所の管理区分内訳は、第1管理区分（作業環境管理が適切である）が全体の82.9%、第2管理区分（作業環境管理になお改善の余地がある）が8.1%、第3管理区分（作業環境管理が適切でなく速やかに改善措置の実施が必要）が9.0%であった。総合的にみると前年度と同程度であったが、第2・第3管理区分について測定項目別では最も割合が高い騒音が66.1%（前年度61.9%）、次いで粉じんが33.4%（29.2%）であり、どちらも前年度より約4%増加している。

## ■作業環境測定における主な採取・分析方法

対象項目	採取方法	分析方法
有機溶剤	固体捕集法	ガスクロマトグラフ分析方法
	検知管法	
粉じん	相対濃度指示法	
	ろ過捕集法	重量分析方法
金属	ろ過捕集法	原子吸光光度分析方法
	液体捕集法	
特定化学物質	ろ過捕集法	重量分析方法 液体クロマトグラフ分析方法
	検知管法	
	液体捕集法	吸光光度分析方法
	固体捕集法	ガスクロマトグラフ分析方法 液体クロマトグラフ分析方法

図1 測定件数の年次推移



■管理区分と管理区分に応じた講ずべき措置

管理区分	作業場の状態	講ずべき措置
第1管理区分	当該単位作業場所のほとんど(95%以上)の場所で気中有害物質の濃度が管理濃度を超えない状態	現在の管理の継続的維持に努める
第2管理区分	当該単位作業場所の気中有害物質平均が管理濃度を超えない状態	施設、設備、作業工程又は作業方法の点検を行い、その結果に基づき、作業環境を改善するため必要な措置を講ずるよう努める
第3管理区分	当該単位作業場所の気中有害物質平均が管理濃度を超えている状態	① 施設、設備、作業工程又は作業方法の点検を行い、その結果に基づき、作業環境を改善するため必要な措置を講ずる ② 有効な呼吸用保護具の使用 ③ 健康診断の実施その他労働者の健康の保持を図るため必要な措置を講ずる

表1 測定件数・項目別事業場数・単位作業場所数 ( )内は%

区分(測定項目)	測定件数 *1	測定実施事業 場延数 *2	延単位作業 場所数 *3	延単位作業場所の管理区分内訳(割合%) *4					
				第1管理区分		第2管理区分		第3管理区分	
計	19,111	606	2,571	2,130	(82.9)	209	(8.1)	232	(9.0)
粉じん(石綿を除く)	4,361	169	482	321	(66.6)	50	(10.4)	111	(23.0)
特定化学物質*5	4,743	330	729	651	(89.3)	43	(5.9)	31	(4.3)
石綿	0	0	0						
金属	1,197	53	189	168	(88.9)	13	(6.9)	8	(4.2)
有機溶剤	6,431	452	1,001	931	(93.0)	49	(4.9)	21	(2.1)
騒音	2,038	36	174	59	(33.9)	54	(31.0)	61	(35.1)
その他*6	341	45							

\*1: 作業環境測定の結果の評価等に用いた測定点総数

\*2: 測定項目ごとの実施事業場延数(総数は1項目以上の実施事業場延数。但し、その他の項目を除く)

\*3: 作業環境測定結果の評価を実施した延単位作業場所の項目ごとの場所数(単位作業場所: 作業環境測定結果の及ぶ範囲)

\*4: 各項目における管理区分ごとの単位作業場所数及び割合

\*5: 管理濃度が設定されていない測定も含む

\*6: 作業環境測定であるが、結果の評価を実施しなかった測定の総件数及び事業場延数(分析のみの測定を含む)

表2 作業環境測定以外の環境測定実績

名称	根拠となる法令等	物質名等	測定件数
計			553
揮発性有機化合物(VOC)の室内空気環境測定	官庁営繕部における平成15年度からのホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について	ホルムアルデヒド, アセトアルデヒド, トルエン, キシレン, エチルベンゼン, スチレン, p-ジクロロベンゼン, テトラデカン	81
	学校環境衛生基準	ホルムアルデヒド, トルエン, キシレン, p-ジクロロベンゼン, エチルベンゼン, スチレン	338
ダニ又はダニアレルゲンの検査	学校環境衛生基準	ダニアレルゲン	92
レジオネラ属菌検査	公衆浴場法および同法施行条例, 旅館業法および同法施行条例に基づく検査	浴槽水中のレジオネラ属菌	10
教室の換気, 一酸化炭素の測定	学校衛生環境基準	二酸化炭素, 一酸化炭素	16
温湿度の測定	学校衛生環境基準	温度, 相対湿度	16

# 精密検査外来

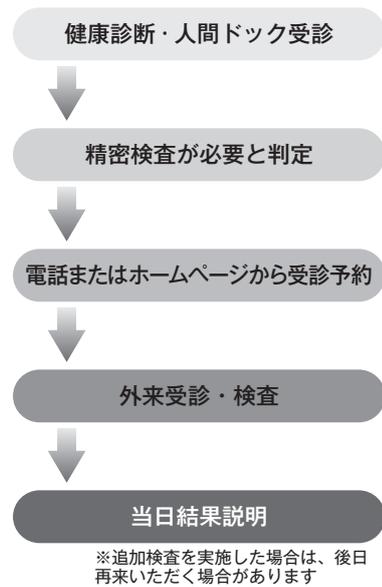
精密検査外来は、2014（平成 26）年に健診後のサポートを充実させる目的で開始した事業である。当協会の健康診断や人間ドックで精密検査が必要と判定された方を対象としている。完全予約制で待ち時間が少なく、保険適用で一度の受診で診察・検査・説明まで完了させる体制をとっているのが大きな特徴である。循環器内科、呼吸器内科、消化器内科の3つの診療科では、より高度な検査を実施し、治療が必要な方をより早く、より正確にトリアージして専門医療機関へ紹介している。

## ■実施状況

令和4年度の利用者数は前年度より328人減の3,374人（前年度比91.1%）であった。診療科別に前年度比をみると、循環器内科1,011人（90.6%）、呼吸器内科1,377人（93.2%）、消化器内科986人（88.9%）と、いずれも前年度を下回った（表1）。

各診療科の利用状況（初診のみ）は、多い順に消化器内科43.1%、呼吸器内科41.6%、循環器内科15.4%であった。また、健診部門別では産業保健部門の利用者が69.8%と多かったことから、本外来の特徴である「一度の受診で完了する」ことが働く世代の精密検査受診率向上に役立っていると考えられる（表2、図3）。「要精密検査」と判定された方々の精密検査受診率向上のために、本外来をさらに活用していただけるよう推進していきたい。

図1 外来受診までの流れ



## ■診療科と検査項目

診療科	C判定となった検査項目	精密検査外来で実施する検査
循環器内科	心電図検査	ホルター心電図検査
	心臓超音波検査	心臓超音波検査
	頸動脈超音波検査	胸部CT検査
	血圧脈波検査	頭部MRI検査
	胸部X線検査（循環器所見）	運動負荷心電図検査
	胸部低線量CT検査（循環器所見）	血液検査 など
呼吸器内科	胸部X線検査（呼吸器所見）	胸部CT検査
	胸部低線量CT検査（呼吸器所見）	胸部XP検査 など
	呼吸機能検査	
	アミノインデックス（肺がん）	
消化器内科	胃部X線検査	上部／下部内視鏡検査
	便潜血検査	大腸CT検査

表 1 診療科別検査人数

	計	循環器内科	呼吸器内科	消化器内科	上部消化管内視鏡	下部消化管内視鏡	大腸 CT
計	3,374	1,011	1,377	986	252	447	287
二次検査(初診)	2,039	313	848	878	224	417	237
経過観察	680	256	396	28	14	10	4
その他	655	442	133	80	14	20	46

表 2 健診部門別検査人数(初診のみ) ( )内% : 各健診部門内の割合、 < >内% : 各診療科内の割合

	計	循環器内科		呼吸器内科		消化器内科		上部消化管内視鏡	下部消化管内視鏡	大腸 CT
計	2,039	313	(15.4)	848	(41.6)	878	(43.1)	224	417	237
人間ドック	286	31	(10.8)	163	(57.0)	92	(32.2)	23	42	27
	<14.0>	<9.9>		<19.2>		<10.5>				
産業保健	1,424	277	(19.5)	429	(30.1)	718	(50.4)	200	339	179
	<69.8>	<88.5>		<50.6>		<81.8>				
地域保健	316	5	(1.6)	243	(76.9)	68	(21.5)	1	36	31
	<15.5>	<1.6>		<28.7>		<7.7>				
学校保健	13	0		13	(100.0)	0				
	<0.6>			<1.5>						

図 2 令和 4 年度 各診療科の利用状況(初診)

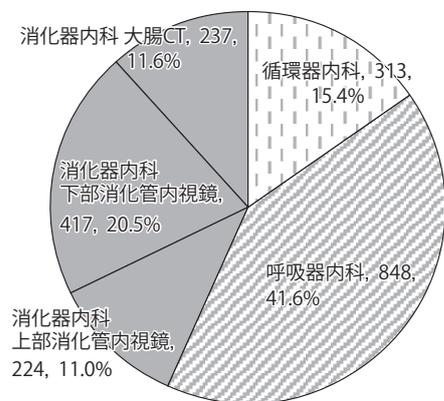


図 3 令和 4 年度 各健診部門の利用状況(初診)

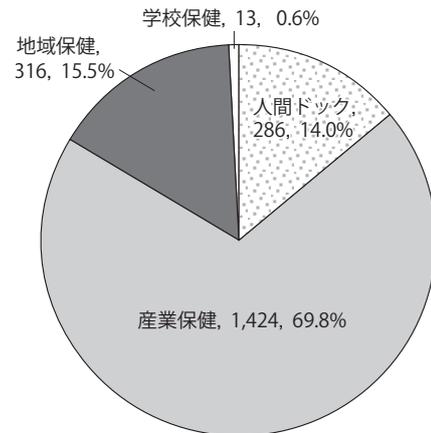
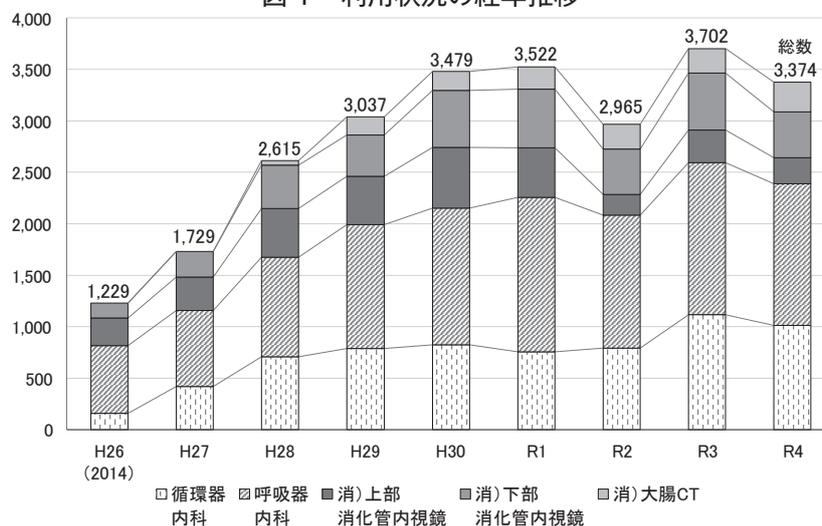


図 4 利用状況の経年推移



# 画像検査オーダーシステム

近年の地域医療事情では、新しく高度な医療機器が整備され、専門医が在籍する中核病院への患者集中が問題になっている。そこで、地域の医療機関が連携し、それぞれの特徴を活かし、地域全体がひとつの医療システムとなって最適な医療を提供する「地域医療連携」が提唱されている。当協会では2005（平成17）年より、人間ドックで使用しているMRI・CTなどの高度医療機器を利用した画像検査受託事業を実施している。当協会近郊の医療機関に活用していただくことで、「機器の稼働率確保」、「地域医療の質の向上」、「かかりつけ医での振り分けによる中核病院の負担軽減」など、当協会、地域の医療機関・中核病院、患者間で相互のメリットが生まれると考える。

## ■受託状況

令和4年度、受託医療機関数は35機関（Big-Waffle：31、県南：4）であった。

受託件数は703件（前年度比113.6%）で、前年度より84件増加した。検査項目の内訳は、CT検査351件（全体の49.9%）、MRI検査333件（同じく47.4%）、超音波検査19件（同じく2.7%）であった（表1）。

## ■特徴

この事業の特徴は以下の3点である。

1. 地域医療機関の第二の検査専門施設  
医療機関が、検体検査と同様に画像検査を当協会にオーダー、要望があれば読影しフィルムと読影結果をお返りする。患者の検査料請求は通常診療の中で医療機関が行う。
2. 検査料金を保険診療点数以下に設定  
当協会から医療機関へ請求する検査料は、保険診療点数より低く設定している。
3. 患者の送迎  
要望があれば、当協会と医療機関との送迎を無料で実施する。

図1 画像検査受託事業の流れ

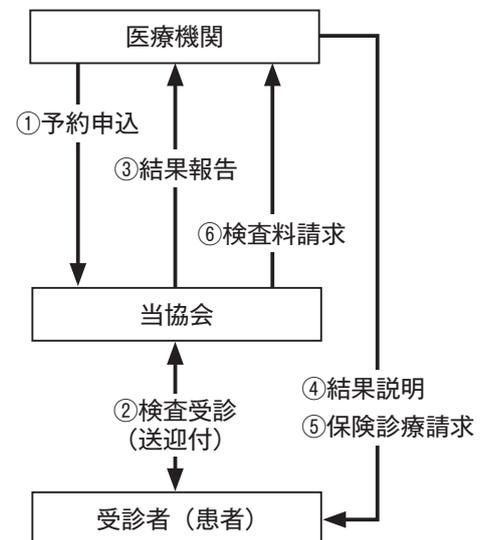


表1 検査項目別受託件数

	計	CT	MRI	乳房X線	超音波
計	703	351	333	0	19
Big Waffle	653	301	333	0	19
県南センター	50	50	-	0	0

# 事業報告

## I. 事業報告（公益目的事業1：健康診断・健康増進事業）

### 1. 学術委員会の開催

#### (1) 専門委員会

- ①呼吸器系検診専門委員会【書面開催】
- ②消化器系検診専門委員会
- ③生活習慣病健診等専門委員会
- ④小児および学校保健専門委員会

令和4年4月12日付  
開催なし  
【中止】  
【中止】

#### (2) 対策委員会

- ①ウイルス肝炎対策委員会【書面開催】

令和4年10月21日付

#### (3) 専門部会

- ①胸部読影専門部会【書面開催】
- ②胃部読影専門部会【書面開催】
- ③循環器検査専門部会【書面開催】
- ④眼底検査専門部会【書面開催】
- ⑤脳検査専門部会【書面開催】
- ⑥乳がん検診専門部会【書面開催】
- ⑦学校心臓検診専門部会【書面開催】
- ⑧脊柱側弯検診専門部会
- ⑨小児生活習慣病健診等専門部会【書面開催】

令和4年4月12日付  
令和4年4月13日付  
令和4年11月18日付  
令和5年3月29日付  
令和5年1月16日付  
令和5年3月28日付  
令和4年3月10日付  
開催なし  
令和5年3月23日付

※先天性代謝異常検査等専門部会は令和4年度を以て解散

### 2. 関係機関担当者会議の開催

#### (1) 学校保健関係

- ①『令和4年度学校保健連絡会議』

令和4年12月12日【Web開催】

##### ア. 講演

「子宮頸がんの予防について」

講師：岩手医科大学産婦人科学講座 教授

馬場 長

##### イ. 事業報告

- ・令和3年度健診・検査実施状況

##### ウ. 報告事項

- ・令和4年度健診・検査申込状況
- ・令和5年度事業計画・学校保健事業計画骨子（案）
- ・令和5年度変更事項

#### (2) 地域保健関係

- ①『令和4年度市町村健康推進担当部課長会議』【中止】

- ②『令和4年度保健活動検討会』

令和5年3月13日付【書面開催】

##### ア. 講演

「高齢者における低栄養の原因と対策」

講師：関東学院大学栄養学部管理栄養学科学科長 教授

田中 弥生

##### イ. 報告事項

- ・令和3年度健診結果・追跡調査結果
- ・令和4年度健診・検査実施状況
- ・令和5年度地域保健事業計画骨子

・令和5年度変更事項について

(3) 産業保健関係

①『第11回産業保健「健康支援セミナー」』

令和5年2月13日～3月10日【Web開催】

ア. 講演

①「適正な塩分摂取量とは？ーリスクと事後指導についてー」

講師：岩手県予防医学協会予防医学部長日本高血圧協会岩手県支部長

坂田清美

②「推定塩分摂取量測定結果の活用（減塩とカリウム摂取）」

講師：岩手県予防医学協会健康支援課 管理栄養士

吉田晃子

イ. 報告事項

- ・令和3年度健診結果報告
- ・令和2年度追跡調査結果

ウ. 情報提供

- ・新たな化学物質規制
- ・労働安全衛生法関係の届出、申請等帳票印刷に係る入力支援サービス
- ・e-Gov 電子申請
- ・治療と仕事の両立支援ナビ

### 3. 研究会・講習会・健康講座等の開催

(1) 第37回健康教育研究会の開催

令和4年9月1日～25日【Web開催】 268人

「自己肯定感」という言葉の罨～子ども・若年者にかかわるために必要なこと～

講師：原宿カウンセリングセンター顧問 公認心理師・臨床心理士

信田さよ子

(2) 学術講演会

学術講演会の開催なし

(3) 健康講座・健康教室等の開催

① レストラン食楽良 いわて減塩・適塩の日企画

令和4年4月28日 46人

② ヨロコブ講座 ストレスとセルフケア①

令和4年6月16日 5人

③ レストラン食楽良 いわて減塩・適塩の日企画

令和4年6月28日 50人

④ ヨロコブ講座 食事で防ぐ脳卒中！

令和4年7月21日 6人

⑤ レストラン食楽良 いわて減塩・適塩の日企画

令和4年7月28日 44人

⑥ ヨロコブ講座 食事で改善気になるコレステロール

令和4年8月18日 8人

⑦ ヨロコブ講座 楽しく脳活!! コグニサイズ

令和4年9月15日 8人

⑧ レストラン食楽良 いわて減塩・適塩の日企画

令和4年9月28日 45人

⑨ ヨロコブ講座 高血圧予防のポイント

令和4年10月13日 9人

⑩ レストラン食楽良 いわて減塩・適塩の日企画

令和4年10月28日 45人

⑪ ヨロコブ講座 糖尿病を予防しよう！

令和4年11月17日 7人

⑫ ヨロコブ講座 免疫力UPを目指して

令和4年12月15日 5人

⑬ ヨロコブ講座 ストレスとセルフケア②

令和5年1月19日 8人

⑭ ヨロコブ講座 あなたの筋肉大丈夫？

令和5年2月16日 10人

⑮ レストラン食楽良 いわて減塩・適塩の日企画

令和5年2月28日 51人

⑯ レストラン食楽良 いわて減塩・適塩の日企画

令和5年3月28日 48人

(4) Big Waffle Art Project 2022

①『岩手大学絵画研究室 1.8×4.8展』

令和5年2月16日～3月1日

## 4. 職員研修

### (1) 内部研修会の実施

①交通安全講習会（新入職員、新採用アシスタント職員等）		45人参加
②安全運転講習会【Web開催】		473人参加
③防災訓練（年2回）（防災教育及び避難訓練）		延べ872人参加
④職員全体研修会【Web開催】		673人参加
⑤職員研究発表会【Web開催】		344人参加
合計		2407人参加

### (2) 外部研修会への参加

#### 主催別内訳

①公益財団法人予防医学事業中央会関係研修会	9回	33人参加
②公益財団法人結核予防会関係研修会	4回	10人参加
③公益社団法人全国労働衛生団体連合会関係研修会	14回	31人参加
④公益社団法人日本作業環境測定協会関係研修会	3回	3人参加
⑤その他	142回	215人参加
合計	172回	292人参加

#### 職種別内訳

①医師関係	37回	39人参加
②保健師関係	17回	18人参加
③臨床検査技師関係	28回	46人参加
④放射線技師関係	12回	17人参加
⑤作業環境測定士関係	4回	8人参加
⑥看護師関係	9回	9人参加
⑦栄養士関係	8回	9人参加
⑧運動指導士関係	2回	2人参加
⑨臨床心理士関係	3回	3人参加
⑩事務関係	66回	141人参加
合計	186回	292人参加

## 5. 研究発表等

### (1) 第3回心電学関連春季大会 2022（横浜市）

令和4年4月9日

「心臓学校検診における WPW 症候群の頻度と心電図所見の特徴」 小松 隆

### (2) 第48回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会【Web開催】

令和4年4月23日～24日

「検診における乳管内病変のカテゴリーについて」 相馬 明美

### (3) 第68回日本不整脈心電学会学術集会（横浜市）

令和4年6月8日

「Potential predictors for improvement of isolated diastolic function in patients with paroxysmal atrial fibrillation underwent pulmonary vein isolation.」 小松 隆

### (4) 第58回東北臨床細胞学会学術集会（山形市）

令和4年7月2日

「シユアパス法による子宮頸がん検診における ASC-H 判定例について」 川端 寿行

### (5) 第2回日本不整脈心電学会東北支部地方会（盛岡市）

令和4年7月16日

①「学校心臓検診で発見される主な基礎心疾患」 腰山 誠

②「2015年から2020年岩手県学校心臓検診における WPW 症候群の頻度と心電図所見の特徴」

小松 隆

- (6) 第 71 回東北公衆衛生学会（山形市）  
令和 4 年 7 月 22 日
- ①「東日本大震災被災地域における住民の主観的健康感の推移に関する記述疫学的検討 RIAS Study.」  
坂田清美
- ②「東日本大震災被災地域高齢者における新規要介護の発生要因の検討 RIAS Study.」  
坂田清美
- (7) 第 81 回日本公衆衛生学会総会（甲府市）  
令和 4 年 10 月 7 日～9 日
- ①「東日本大震災後の地域在住高齢者の閉じこもり発生要因の検討 RIAS Study.」  
坂田清美
- ②「地域在住高齢者のメタボリックシンドロームと要介護認定との関連について」  
坂田清美
- (8) 岩手医用画像研究会（盛岡市）  
令和 4 年 10 月 15 日
- 「大腸 CT 検査にてカテゴリー C0 となった症例についての検討」  
久保田 憲 宏
- (9) 第 26 回日本心不全学会学術集会（奈良市）  
令和 4 年 10 月 23 日
- 「Significance of plasma concentration of brain natriuretic peptide in paroxysmal atrial fibrillation patients with preserved ejection fraction.」  
小松 隆
- (10) 第 43 回作業環境測定研究発表会（姫路市）  
令和 4 年 10 月 26 日～28 日
- 「金属加工品製造工場の測定事例からみた個人サンプリング法導入の検討」  
小笠原 雄 太
- (11) 日本不整脈心電学会カテーテルアブレーション関連大会 2022  
令和 4 年 11 月 25 日
- 「発作性・持続性心房細動例における心房細動アブレーション時の直接型経口抗凝固薬（DOAC）とワルファリンの抗凝固療法比較—プロペンシテイスコアマッチ研究—」  
小松 隆
- (12) 岩手県診療放射線技師会第 21 回学術大会（盛岡市）  
令和 4 年 11 月 27 日
- 「大腸 CT 検査にてカテゴリー C0 となった症例の検討」  
一方井 正 宏
- (13) 肝炎医療コーディネーター養成研修会講演【Web 開催】  
令和 5 年 1 月 23 日～2 月 5 日
- 「岩手県のウイルス肝炎の疫学」  
高橋 文 枝
- (14) 第 33 回日本疫学会学術集会（浜松市）  
令和 5 年 2 月 1 日～3 日
- ①「東日本大震災被災地における身体活動の変化と総死亡との関連 RIAS Study.」  
坂田清美
- ②「東日本大震災の被災者における心血管疾患関連血清 miRNA 値と脳血管疾患罹患との関連」  
坂田清美
- ③「急激な体重変動と要介護リスクの関連 岩手県北地域コホート研究」  
坂田清美
- ④「東日本大震災被災による同居人の死亡が新規要介護の発生に及ぼす影響 RIAS Study.」  
坂田清美
- (15) 第 56 回全国予防医学技術研究会（金沢市）  
令和 5 年 3 月 3 日
- ①「子宮頸部細胞診を契機に発見に至った子宮体部癌に関する検討について」  
千葉 瑞 穂
- ②「人間ドックにおける洞性頰脈の現状」  
下屋敷 美 桜
- ③「携帯型 X 線撮影装置を用いた胸部 X 線検査の検討」  
小野寺 健
- ④「胃部 X 線検査画像での幽門前庭部の形状分類と描出範囲についての検討」  
村田 宗 二
- ⑤「マンモグラフィにおける新型コロナワクチン接種に伴う反応性リンパ節腫大について」  
細川 悠 子
- (16) 第 40 回岩手糖尿病研究会（盛岡市）  
令和 5 年 3 月 4 日
- ①「頸動脈超音波検査に及ぼす血糖値の影響」  
亀澤 美 仁
- ②「健診データからみる岩手県の糖尿病合併 CKD について」  
腰山 誠

## (17) 第 87 回日本循環器学会学術集会 (福岡市)

令和 5 年 3 月 10 日～12 日

- ① 「Obese elderly Japanese men had an identically high prevalence rate of atrial fibrillation as the rate in Western population.」 田 卷 健 治
- ② 「Increased annual incident rate of cardiogenic stroke did not contribute to an increase in a total number of all-type of ischemic strokes in the Tsunami-disaster area in 2011」 田 卷 健 治
- ③ 「Having both low BMI and smoking habit contributes to an increased prevalence of supraventricular premature contraction, especially in elderly individuals」 田 卷 健 治
- ④ 「Potential predictors for improvement of isolated diastolic function in patients with paroxysmal atrial fibrillation underwent pulmonary vein isolation.」 小 松 隆
- ⑤ 「Relationship between previous antiarrhythmic drugs use and outcome of pulmonary vein isolation in patients with paroxysmal and persistent atrial fibrillation.」 小 松 隆
- ⑥ 「Outcome of pulmonary vein isolation in paroxysmal and persistent atrial fibrillation patients with requiring long-term bepridil therapy;A propensity-score matched study」 小 松 隆
- ⑦ 「Outcome of additional bonus freezes for atrial substrate modification following standard cryo-balloon-based pulmonary vein isolation in patients with atrial fibrillation.」 小 松 隆
- ⑧ 「Clinical characteristics of chronic kidney disease in Japanese general populations with atrial fibrillation.」 小 松 隆
- ⑨ 「Predisposing factors to the future development of chronic kidney disease in Japanese general populations with atrial fibrillation.」 小 松 隆

## (18) 「予防医学ジャーナルへ」の投稿 (予防医学事業中央会発行)

- ① 「心電計自動解析の傾向について」 小 原 胡 萩
- ② 「新血圧分類からみた健康診断受診者の血圧分布と過剰死亡推計」 足 立 育 子
- ③ 「特定健診・特定保健指導を取り巻く最近の話題～第 4 期計画策定に期待すること～」 坂 田 清 美

## (19) 「総合健診」への投稿 (日本総合健診医学会発行)

「胃 X 線検査に有効な追加撮影とは」 久保田 憲 宏

## (20) 「日本公衆衛生雑誌」への投稿 (日本公衆衛生学会発行) 「東日本大震災被災地域の高齢者における住居形態と住環境リスクに関する観察研究 the RIAS Study.」 坂 田 清 美

## (21) J Epidemiol. (投稿)

「Psychological Distress in Responders and Nonresponders in a 5-year Follow-up Health Survey: The RIAS Study.」 坂 田 清 美

## (22) Hypertens Res. (投稿)

「Seven-year incidence of new-onset hypertension by frequency of dairy intake among survivors of the Great East Japan Earthquake.」 坂 田 清 美

## (23) Int. J. Disaster Risk Reduct. (投稿)

「Inverse association of seafood intake with becoming overweight among survivors of the Great East Japan Earthquake.」 坂 田 清 美

## 6. 広報活動

- (1) 機関誌の発行『健康いわて』(第 322 号～第 325 号) 季刊 3,000 部
- (2) 事業年報 第 51 号 令和 3 年度報告 1,500 部
- (3) ホームページの更新
- (4) テレビ CM の放映 (毎週)

## 7. 予防医学事業中央会にかかわる事業

### (1) 各種会議・研修会への参加

①第1回全国運営会議【Web開催】	令和4年7月6日	5人
②第39回全国情報統計研修会【Web開催】	令和4年8月26日	6人
③第2回全国運営会議（鹿児島市）	令和4年10月27日	2人
④第67回予防医学事業推進全国大会（鹿児島市）	令和4年10月27日	4人
⑤予防医学事業推進東北ブロック会議【Web開催】	令和4年11月30日	6人
⑥全国業務研修会（高知市）	令和5年2月16日～17日	3人
⑦第56回全国予防医学技術運営会議（金沢市）	令和5年3月2日	1人
⑧第56回全国予防医学技術研究会 （金沢市/Web開催）	令和5年3月3日	現地参加3人 Web参加3人
⑨保健指導研修会【Web開催】	令和5年3月10日	2人

## 8. 結核予防会にかかわる事業

### (1) 結核予防会支部の業務の実施

#### ①検診事業

#### ②複十字シール運動の展開（結核対策事業資金の造成）

NPO法人岩手県地域婦人団体協議会と共同で運動を実施

運動期間 令和4年8月1日～12月31日まで

後援 岩手県、岩手県議会、岩手県市長会、岩手県市議会議長会、岩手県町村会、岩手県町村議会議長会、岩手県保健所長会、岩手県教育委員会、岩手県PTA連合会、岩手県医師会、岩手県歯科医師会、岩手県薬剤師会、岩手県看護協会、岩手県診療放射線技師会、岩手県臨床衛生検査技師会、JA岩手県五連(JA岩手県中央会、JA岩手県信連、JA岩手県厚生連、JA全農いわて、JA共済連岩手)、岩手県国民健康保険団体連合会、岩手労働基準協会、岩手日報社、IBC岩手放送、テレビ岩手、岩手めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、NHK盛岡放送局、岩手県栄養士会

実績	令和4年度	(令和3年度)
大型シール	405枚	(454枚)
小型シール	6,472枚	(6,412枚)
募金総額	1,445,608円	(1,601,847円)
交付金収入	622,940円	(647,774円)
募金総額の内、岩手県地域婦人団体協議会の実績	460,000円	(473,700円)

#### ③普及啓発、広報活動

ア. 岩手県知事表敬訪問（盛岡市）	令和4年8月29日	5人
イ. 令和4年度結核予防啓発キャンペーン ・結核予防週間に合わせ、施設内に普及啓発用ポスターを掲示		
ウ. ポスター・チラシ等の配布 ・市町村、教育委員会、保健所、県立病院、公共施設など		
エ. 広報誌の配布 『複十字』（No.404～409） （公益財団法人結核予防会発行）	隔月 400部	
『健康の輪』 （全国結核予防婦人団体連絡協議会発行）	年3回 110部	

### (2) 各種会議、研修会への参加

①複十字シール運動担当者会議【Web開催】	令和4年9月15日	2人
②東北・北海道ブロック会議（青森市）	令和4年10月13日	5人
③第74回結核予防全国大会（熊本市）	令和5年2月14日～15日	2人
④診療放射線技師研修会【Web開催】	令和5年3月22日	1人

## 9. 調査・研究事業

- (1) 岩手県北地域コホート研究
- (2) 厚生労働科学研究委託費革新的がん医療実用化研究事業  
乳がん検診における超音波検査の有効性検証に関する研究
- (3) 厚生労働省肝炎等克服政策研究事業  
肝炎ウイルス感染状況の把握及び肝炎ウイルス排除への方策に資する疫学研究  
地域に応じた肝炎ウイルス診療連携体制構築の立案に資する研究
- (4) 日本医療研究開発機構（AMED）革新的がん医療実用化研究開発事業  
低線量 CT による肺がん検診の実用化を目指した無作為化比較試験及びコホート研究
- (5) 国立感染症研究所  
都市部及び非都市部住民における経時的な新型コロナウイルスの血清疫学研究
- (6) 岩手医科大学泌尿器科学講座研究事業  
健常人における腎機能低下早期発見のためのマーカー探索
- (7) 追跡調査
- (8) 経時的データの有効活用

## 10. 令和4年度岩手県へき地指定校実施内容

	心臓検診	貧血検査	生活習慣病 予防健診	脊柱側 弯検診	尿検査	ピロリ菌 検査
へき地指定小学校（全53校）	605	280	242	256	2,323	0
へき地指定中学校（全24校）	328	815	207	191	1,066	6
合計	933	1,095	449	447	3,389	6

## II. 事業報告（公益目的事業2：幼老統合事業）

### 1. 運営状況

#### (1) 保育園

##### ①園児数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳	6	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
1歳	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
2歳	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
3歳	13	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
4歳	14	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
5歳	14	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
計	71	80	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81

##### ②保育時間

月～土曜日 7：00～18：00（延長保育 18：00～20：00）

休み：日曜日・祝祭日、年末年始12/29～1/3

## (2) 児童クラブ

### ①児童数 ※対象：飯岡小学校、向中野小学校、本宮小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生	27	27	27	27	28	29	29	29	29	28	28	28
2年生	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
3年生	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	16
4年生	24	22	21	21	21	21	21	21	21	21	21	20
5年生	9	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	4
6年生	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
計	109	104	103	103	104	104	104	104	104	103	103	100

### ②保育時間

月～金曜日 13：00～18：00（延長保育 18：00～20：00）

土曜日 8：00～18：00

長期休暇 7：30～18：00（延長保育 18：00～19：30）

休み：日曜日・祝祭日、お盆8/13～16、年末年始12/29～1/3

なお、学校行事等による振替休日は長期休暇に準じた受け入れ対応を行った。

## (3) デイサービス（地域密着型通所介護事業）

### ①利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	15	14	13	13	12	13	13	14	14	13	13	14
延べ人数	84	79	82	72	63	73	68	70	72	66	67	74

### ②利用時間

月～金曜日 9：00～16：00

休み：土曜日・日曜日・祝祭日、お盆8/13～16、年末年始12/29～1/3

## 2. 運営等に関する委員会等の開催（法定設置）

### (1) 保育園運営委員会

令和4年度開催せず

### (2) 介護事業運営推進会議

令和4年6月2日付【書面開催】

令和5年1月19日付【書面開催】

## 3. 幼老統合施設保育園入園式・進級式・卒園式の実施

### (1) 保育園入園式

令和4年4月2日

### (2) 保育園進級式

令和4年4月1日

### (3) 保育園卒園式

令和5年3月18日

## 4. 幼老統合施設各種行事・公開行事の実施

(1) 運動会 新型コロナウイルス感染防止のため、3歳以上児のみにてクラスごとに開催

(2) 発表会 新型コロナウイルス感染防止のため、クラスごとに開催

## 5. 保育所（園）長会議への参加

毎月開催予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため8回開催され6回参加となった。

## 6. 保育所運営事業所会議・研修会・勉強会等への参加

56回 58人

## 7. 児童クラブ運営事業所会議・研修会・勉強会等への参加

7回 8人

## 8. デイサービス運営事業所会議・研修会・勉強会等への参加

6回 6人

## 9. 異世代間交流、地域交流の実施

- (1) 保育園、デイサービス、児童クラブが日常的な相互交流を実施  
※新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、人数や場所、時間を限定しながらも園児と高齢者、児童と高齢者、園児と児童が対面での交流を実施した。
- (2) 季節のイベントを3部門合同で行い「食育」「運動」「交流」をテーマとした「子どもと高齢者とのコミュニケーション」を実施  
※新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、園児と児童の交流の様子を高齢者が見守る等合同での活動を行うことができた。また、手作り品のプレゼント等を相互に実施した。
- (3) 近隣の学校・自治会等との交流会の実施  
※令和4年度は、新型コロナウイルス感染防止のため交流会は実施せず。

## 10. 普及啓発・広報活動

- (1) 健康診断・健康増進事業が発行する機関誌「健康いわて」に『Cocoa通信』と『みんなでCocoa運動』を毎号掲載し、施設や活動内容についての情報を発信。地元自治会にも配布。
- (2) Cocoa独自のホームページを作成し、幼老交流活動の内容等を随時更新することで、施設についての情報を発信。
- (3) Cocoa（デイサービス）の紹介パンフレットを作成し、地元自治会等に配布した。

## 11. 職員研修

- I. 事業報告（公益目的事業1：健康診断・健康増進事業）「5. 職員研修」と同じ

## 12. 調査・研究事業：令和4年度該当なし

## 13. 研究発表

- 第44回職員研究発表会（当協会）【Web開催】令和5年3月27日～31日  
「保育活動における子どもの運動能力向上を目指して」保育士 伊東友妃菜

## 14. 児童福祉施設の運営に係る保育所指導監査（児童福祉法施行令第38条の規定に基づく）

- 実施日：令和4年8月19日  
実施者：盛岡市保健福祉部地域福祉課  
対象施設：Cocoa（保育園）  
実施目的：保育所を運営するに当たって、関係法令が遵守されているか  
監査結果：特に是正改善を求める事項はなし

## 15. 介護保険施設等の実地指導：令和4年度該当なし

## 16. 施設見学

- 令和4年度は、新型コロナウイルス感染防止対策として施設見学の受け入れはなしとした。

## 17. 施設環境の整備

- 保育園のホールに熱中症対策のためエアコンを3台新設した。

### Ⅲ. 法人の運営に関する事業

#### 1. 評議員会、理事会、定期監査等の開催

##### (1) 評議員会

- ①第1回書面による評議員会（令和4年5月18日付）
  - ア. 理事の選任について決議された。
- ②第1回評議員会（令和4年6月22日、ホテルニューカーリーナ「アイリス」）
  - ア. 書面による評議員会決議について報告された。
  - イ. 理事の辞任、就任について報告された。
  - ウ. 評議員の辞任、就任について報告された。
  - エ. 令和3年度事業報告について原案どおり承認された。
  - オ. 令和3年度収支決算報告並びに監査報告について原案どおり承認された。
  - カ. 任期満了に伴う理事及び監事の選任について承認された。

※決議に必要な出席評議員数8人、出席11人、欠席3人、監事出席1人、理事出席3人
- ③第2回書面による評議員会（令和4年7月11日付）
  - ア. 小原紀彰前会長への功労金の支給について決議された。
- ④第3回書面による評議員会（令和4年11月24日付）
  - ア. 常勤役員報酬額について決議された。
- ⑤第4回書面による評議員会（令和5年3月1日付）
  - ア. 理事の選任について決議された。
- ⑥第5回書面による評議員会（令和5年3月23日付）
  - ア. 次期常務理事の報酬額について原案どおり承認された。

##### (2) 理事会

- ①第1回書面による理事会（令和4年5月6日付）
  - ア. 評議員候補者の推薦について決議された。
  - イ. 臨時評議員会の開催について決議された。
  - ウ. 令和4年度定時評議員会の開催について決議された。
- ②第2回書面による理事会（令和4年5月17日付）
  - ア. 評議員候補者の推薦について決議された。
- ③第1回理事会（令和4年6月6日、公益財団法人岩手県予防医学協会会議室）
  - ア. 書面による理事会決議について報告された。
  - イ. 書面による評議員選定委員会決議について報告された。
  - ウ. 書面による評議員会決議について報告された。
  - エ. 理事の辞任、就任について報告された。
  - オ. 評議員の辞任、就任について報告された。
  - カ. 令和3年度事業報告について原案どおり決議された。
  - キ. 令和3年度収支決算報告について原案どおり決議された。
  - ク. 令和4年度第1回定期監査について報告された。
  - ケ. 理事の職務執行状況について報告された。
  - コ. 任期満了に伴う評議員選定委員の選任について決議された。
  - サ. 公益財団法人JKA補助事業について決議された。

※決議に必要な出席理事の数6人、出席8人、欠席2人、監事出席3人
- ④第3回書面による理事会（令和4年6月22日付）
  - ア. 会長、専務理事、常務理事の選定について決議された。
  - イ. 名誉会長の選任について決議された。
  - ウ. 臨時評議員会の開催について決議された。
- ⑤第4回書面による理事会（令和4年10月27日付）
  - ア. 臨時評議員会の開催について決議された。
  - イ. 「役員等の旅費規程」に定めのない事項の取り扱いについて決議された。

- ⑥第5回書面による理事会（令和5年1月27日付）
  - ア. 臨時評議員会の開催について決議された。
- ⑦第2回理事会（令和5年3月20日、ホテルメトロポリタン盛岡「姫神」）
  - ア. 理事の退任、就任について報告された。
  - イ. 書面による理事会決議について報告された。
  - ウ. 書面による評議員会決議について報告された。
  - エ. 令和4年度上半期理事の職務執行状況について報告された。
  - オ. 令和4年度上半期監査について報告された。
  - カ. 令和5年度事業計画について原案通り決議された。
  - キ. 令和5年度収支予算について原案通り決議された。
  - ク. 常務理事の辞任に伴う次期常務理事の選定について決議された。
  - ケ. 次期常務理事の報酬額の承認について原案通り決議された。
  - コ. 臨時評議員会の開催について決議された。
- (3) 定期監査
  - ①第1回定期監査（令和4年5月27日、公益財団法人岩手県予防医学協会会議室）
    - ア. 令和3年度事業報告について適正と認められた。
    - イ. 令和3年度決算報告について適正と認められた。
    - ウ. 理事の職務執行状況について報告された。
 ※監事出席3人、理事出席2人
  - ②第2回定期監査（令和4年11月25日、公益財団法人岩手県予防医学協会会議室）
    - ア. 令和4年度上半期事業報告について適正と認められた。
    - イ. 令和4年度上半期収支状況について適正と認められた。
    - ウ. 理事の職務執行状況について報告された。
 ※監事出席2人、理事出席2人
- (4) 評議員選定委員会
  - ①第1回書面による評議員選定委員会（令和4年5月24日）
    - ア. 評議員候補者の選定について決議された。

## 2. 規程等の制定・改定について

- (1) 規程等の改定
  - ①育児休業等に関する規程
  - ②介護休業等に関する規程
  - ③非常勤嘱託職員の報酬等に関する取り決め
  - ④出張旅行命令取消等の場合における旅費支給についての取り決め
  - ⑤個人情報保護基本規程
  - ⑥各種委員会規程
  - ⑦出張旅行における前泊および後泊の基準の取り決め
  - ⑧臨時雇用者就業規則
  - ⑨無期雇用者就業規則

## 3. 職員研修

- (1) 内部研修会の実施
 

①令和5年度新入職員事前研修会	25人
②新入職員フォロー研修（令和3年度7月、令和4年度採用職員対象）	35人
③先輩職員研修（令和2、3年度採用職員対象）	41人
合 計	101人参加

## 4. 各種表彰の受賞

### (1) 公益財団法人予防医学事業中央会関係

- |      |                  |        |
|------|------------------|--------|
| ①奨励賞 | 健康推進部看護課看護係長     | 齊藤 亜紀子 |
|      | 健康推進部健康支援課健康支援係長 | 小西 誉子  |

### (2) 公益社団法人全国労働衛生団体連合会関係

- |      |               |       |
|------|---------------|-------|
| ①功績賞 | 施設健診事業部長      | 高島 研二 |
| ②奨励賞 | 医療技術部放射線課長補佐  | 金濱 雄悦 |
|      | 情報管理部情報管理課長補佐 | 林田 剛尚 |

### (3) その他

- |                         |                      |       |
|-------------------------|----------------------|-------|
| ①岩手県安全運転管理者部会連合会優良運転者表彰 |                      |       |
|                         | 巡回健診事業部産業健診課産業健診巡回係長 | 北館 潤一 |

## 5. 立入調査

### (1) 行政庁による立入検査

(公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第27条第1項及び第59条第2項において読み替えて適用する同法第27条第1項及び第59条第1項の規定に基づく立入検査)

実施日：令和4年9月30日

実施場所：盛岡市北飯岡四丁目8番50号（法人の主たる事務所）

実施者：岩手県総務部行政経営推進課

実施対象：法人運営関係、事業関係、会計関係など

検査結果：すべての領域において概ね適正な運営状況である

## 協会概要

---

組織概要

組織図

職員構成

役員・学術委員名簿

施設概要

機器整備

精度管理実施状況

許可、認可等

全国組織とのかかわり

附属診療所

# 協会概要

## 1. 組織概要

- 名称 公益財団法人岩手県予防医学協会
- 所在地 Big Waffle(ビッグワッフル) 〒020-8585 岩手県盛岡市北飯岡四丁目8番50号  
精密検査外来施設 ふわり TEL:019-638-7185(代) FAX:019-637-1278  
県南センター 〒020-0857 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根前野209番地1  
TEL:0197-44-5711(代) FAX:0197-44-4853  
幼老統合施設 Cocoa 〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡四丁目8番45号  
TEL:019-614-0800(保育) 019-614-0820(児童クラブ・デイサービス)  
FAX:019-614-0801(保育) 019-614-0831(児童クラブ・デイサービス)

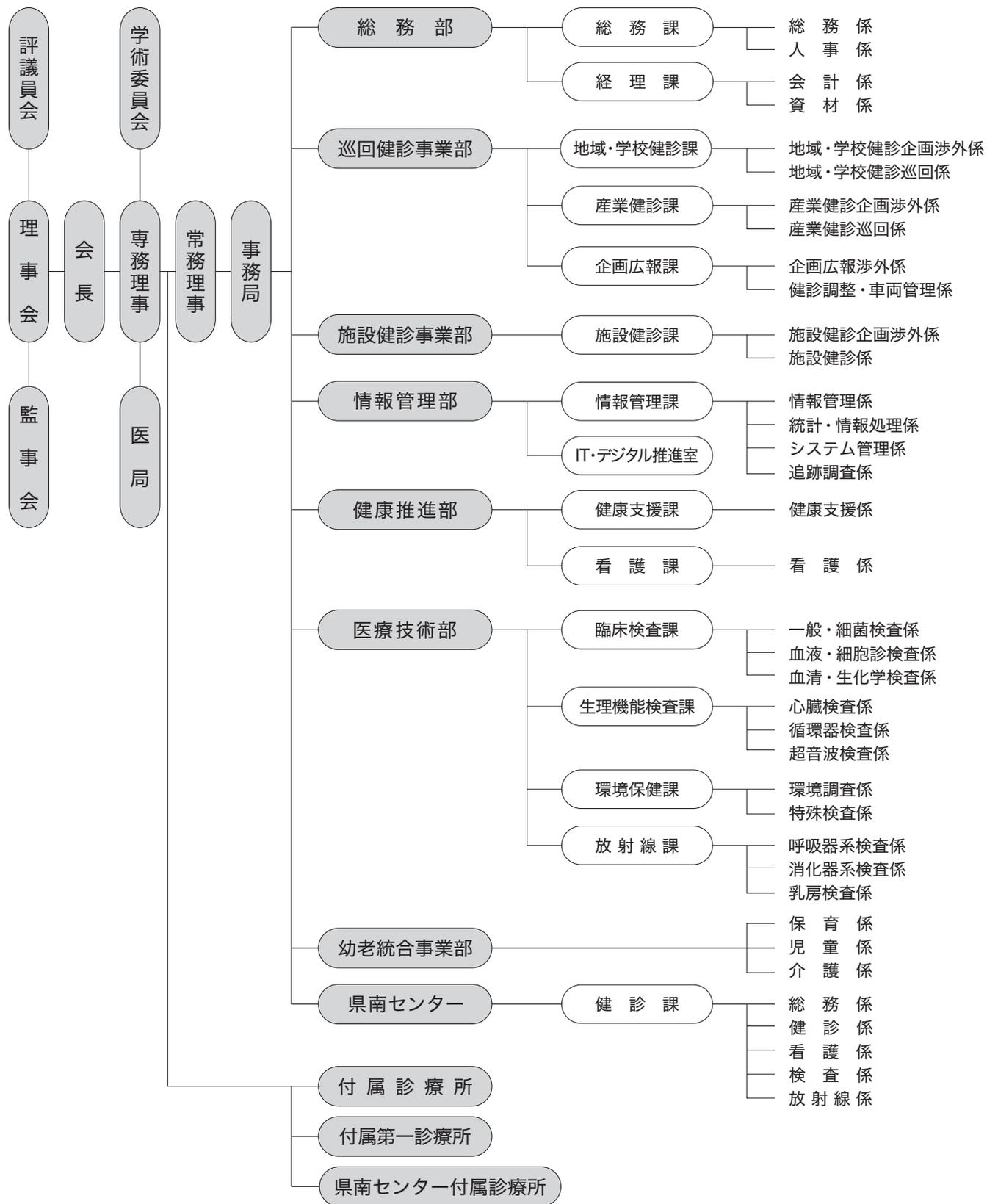
■設立 1970(昭和45)年10月1日

### ■沿革

- 1970(昭和45)年 任意団体岩手県予防医学協会として発足(職員4人)、寄生虫卵検査を中心に業務を開始  
岩手県知事より財団法人として許可を受ける
- 1971(昭和46)年 (財)日本寄生虫予防協会および(財)予防医学事業中央会岩手県支部となる  
農村巡回検診(貧血検査)を開始  
県内初の検診車によるセット式循環器系検診を開始
- 1972(昭和47)年 旧済生会病院(盛岡市清水町)に移転  
(社)全国労働衛生団体連合会会員となる  
循環器系検診車「あおぎり1号」を整備
- 1973(昭和48)年 岩手県より登録衛生検査所として認可を受ける
- 1977(昭和52)年 巡回多項目検診、胸部X線検診車による結核検診、一般健康診断検診等を開始
- 1978(昭和53)年 岩手労働基準局より作業環境測定機関として認可を受ける
- 1979(昭和54)年 各種学術専門委員会を設置  
協会シンボルマークを制定
- 1980(昭和55)年 施設を都南村(現盛岡市)永井の農村管理センターに移転し、一日人間ドックを開始
- 1982(昭和57)年 機関紙「健康いわて」創刊
- 1983(昭和58)年 政府管掌健康保険成人病予防健診の指定機関となる  
予防医学事業推進全国大会開催
- 1986(昭和61)年 健康教育事業を本格的に開始  
水沢市(現奥州市)に県南支所を開設  
検査・健診統計処理コンピューターシステムを導入  
胃部X線検診車による事業所巡回胃部検診を開始
- 1988(昭和63)年 学童成人病予防健診(現生活習慣病予防健診)を開始  
婦人科検診車を譲渡され、婦人科巡回検診を開始
- 1993(平成5)年 県南支所を金ヶ崎町に移転し、名称を県南センターとする
- 1994(平成6)年 骨粗鬆症予防検診を本格的に開始
- 1994(平成8)年 世界で初めてCRシステムを搭載した胸部X線検診車を整備
- 1997(平成9)年 (財)結核予防会岩手支部と統合  
フリーダイヤル「けんしん何でも相談」を開設
- 1998(平成10)年 乳がん検診にマンモグラフィを導入
- 1999(平成11)年 ホームページ開設
- 2001(平成13)年 労災保険二次健康診断等給付が開始し、健診実施機関として健診を開始
- 2004(平成16)年 人間ドックセンターを開設し、シニアドック・レディースドックを開始
- 2005(平成17)年 歯周病検診を全国に先駆けて開始  
個人情報保護法の制定を受け、個人情報保護方針を定める  
会員制ヘルスサポートシステム「健康げんき倶楽部・気楽良(きらら)」を開設
- 2006(平成18)年 基本理念・基本方針等を制定
- 2007(平成19)年 人事理念を制定
- 2008(平成20)年 特定健康診査・特定保健指導開始
- 2010(平成22)年 メンタルヘルス事業を開始  
県南センター人間ドック/健診フロアをリニューアル
- 2011(平成23)年 東日本大震災(3.11)により検診車が被災  
被災地の健康支援事業を開始
- 2012(平成24)年 公益財団法人として認定を受ける  
プライバシーマークの付与認定を受ける
- 2013(平成25)年 盛岡市北飯岡に新施設「Big Waffle」を建築し、移転
- 2014(平成26)年 「Big Waffle」において新しい人間ドック、精密検査外来を開始  
ヘルシーレストラン「食楽良(くらら)」オープン
- 2015(平成27)年 盛岡市北飯岡の敷地内に幼老統合施設「Cocoa」を建築し、幼老統合事業を開始
- 2018(平成30)年 盛岡市北飯岡の敷地内に精密検査外来施設「ふわり」を開設
- 2020(令和2)年 創立50周年を迎える  
県南センターで精密検査外来(呼吸器内科)を開始
- 2021(令和3)年 県内初の肺がんCT検診施設認定を受ける

## 2. 組織図

令和5年4月現在



協会概要

## 3. 職員構成

## (1) 職員数

438人（男207・女231）

## ■ Big Waffle

		区 分	人数
		専務理事（兼）呼吸器内科部長	1
		常務理事（兼）事務局長	1
医 局	医局長1、診療科部長・医師	22	23
事 務 局	事務局長		
		スーパーバイザー	2
		エグゼクティブアドバイザー	5
総 務 部	部長	1	
		総務課	9
		経理課	6
巡回健診事業部	部長、部付担当課長	2	
		地域・学校健診課	27
		産業健診課	39
		企画広報課	9
施設健診事業部	部長	1	
		施設健診課	23
情報管理部	次長	1	
		情報管理課	43
健康推進部	部長	1	
		健康支援課	22
		看護課	45
医療技術部	部長、次長	2	
		臨床検査課	21
		生理機能検査課	52
		環境保健課	11
		放射線課	28
幼老統合事業部			
		保育係・児童係・介護係	21
小 計	396（男186・女210）		396

## ■ 県南センター

		区 分	人数
		センター長（兼）診療所長	1
医 局	診療所長、診療科部長・医師	3	
		センター事務長	1
		健診課	37
小 計	42（男21・女21）		

## (2) 有資格者

のべ548人

		区 分	人数
		医 師	28
		保健師	33
		看護師	83
		管理栄養士	14
		臨床検査技師	74
		衛生検査技師	1
		診療放射線技師	36
		労働衛生コンサルタント（衛生工学）	2
		第1種作業環境測定士	8
		第2種作業環境測定士	4
		第1種衛生管理者	43
		薬剤師	1
		保育士	15
		介護福祉士	2
		公認心理師	1
		臨床心理士	1
		生活相談員（社会福祉主事任用）	4
		准看護師	9
		細胞検査士	5
		超音波検査士	16
		心電技師	2
		胃がん検診専門技師	11
		マンモグラフィ撮影認定技師	10
		肺がんCT検診認定技師	2
		健康運動指導士	4
		選別聴力検査	139

## 4. 役員・学術委員名簿

令和5年7月現在 氏名かな順

### 〈評議員〉

遠藤美江子	JA 岩手県女性組織協議会長
及川公子	特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会長
鎌田英樹	株式会社アイビーシー岩手放送代表取締役会長
川村康範	岩手県環境保健研究センター副所長
菊池勝彦	岩手県教育委員会事務局保健体育課首席指導主事兼総括課長
大黒英貴	一般社団法人岩手県歯科医師会専務理事
戸澤勝弘	公益財団法人岩手労働基準協会専務理事
畑澤博巳	一般社団法人岩手県薬剤師会長
藤尾芳彦	岩手県厚生農業協同組合連合会常務理事
前川貴美子	岩手県保健福祉部健康国保課総括課長
宮田剛	岩手県立中央病院長
望月泉	八幡平市病院事業管理者
吉田陽悦	岩手県保健福祉部医療政策室長

### 〈役員〉

#### 名誉会長

小原紀彰 公益財団法人岩手県予防医学協会前会長

#### 会長（代表理事）

本間博 一般社団法人岩手県医師会長

#### 専務理事（業務執行理事）

武内健一 公益財団法人岩手県予防医学協会呼吸器内科部長

#### 常務理事（業務執行理事）

鈴木和彦 公益財団法人岩手県予防医学協会事務局長

#### 理事

石垣泰 岩手医科大学内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野教授

岩城勝典 公益財団法人岩手県予防医学協会前常務理事

菅原和彦 株式会社岩手日報社常勤監査役

丹野高三 岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座教授

野原勝 岩手県企画理事兼保健福祉部長

吉岡邦浩 岩手医科大学放射線医学講座教授

吉田耕太郎 一般社団法人岩手県医師会常任理事

#### 監事

丹代一志 昆税理士法人代表社員所長

長野隆行 一般社団法人岩手県医師会監事

松下壽夫 松下壽夫法律事務所長

### 〈学術専門・対策委員会〉

#### 1. 呼吸器系検診専門委員会

宇部健治 岩手県立中央病院呼吸器センター長・呼吸器内科長

勝又宇一郎 岩手県立胆沢病院理事

小西一樹 特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院理事長

武内健一 公益財団法人岩手県予防医学協会専務理事・呼吸器内科部長

似内郊雄 医療法人中庸会花巻市石鳥谷医療センター院長

前門戸任 岩手医科大学医学部内科学講座呼吸器内科分野前教授

毛利孝 特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院内科長

守義明 盛岡市立病院副院長・呼吸器内科長

山内広平 医療法人社団松誠会滝沢中央病院長

#### ■胸部読影専門部会

青山洋二 医療法人ゆいの杜ゆい内科呼吸器科クリニック院長

石川一郎	岩手県立中央病院放射線診断科
石川浩	いしかわ内科クリニック院長
伊藤晴方	医療法人社団恵仁会三愛病院副院長・医局長・薬剤科長・呼吸器内科部長・アレルギー科部長
宇部健治	岩手県立中央病院呼吸器センター長・呼吸器内科長
及川茂夫	岩手県立中央病院医療情報管理部次長・放射線診断科長
大浦裕之	岩手県立中央病院副院長・医療安全管理部長
大浦雅之	医療法人泰悠会大浦内科・歯科クリニック院長
大島俊克	公益財団法人総合花巻病院理事長
久保田公宜	医療法人千藤了会久保田医院理事長
小西一樹	特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院理事長
小林研	岩手県立一戸病院副院長・感染管理室長・内科長・在宅医療科長
小林仁	医療法人杉の子会マリオス小林内科クリニック理事長
佐々木直	盛岡市立病院内科長
佐々木達哉	医療法人友愛会盛岡友愛病院理事長
菅原和重	(元) 医療法人博愛会一関病院
千葉裕子	岩手県立中央病院放射線診断科
中舘俊英	盛岡市立病院
似内郊雄	医療法人中庸会花巻市石鳥谷医療センター院長
半田政志	岩手県立胆沢病院参与
樋口清一	医療法人泰悠会大浦内科・歯科クリニック
藤井祐次	医療法人友愛会盛岡友愛病院呼吸器外科部長・緩和ケア外科部長
水野恵子	岩手県立中央病院放射線診断科
守義明	盛岡市立病院副院長・呼吸器内科長
山内広平	医療法人社団松誠会滝沢中央病院長

## 2. 消化器系検診専門委員会

池田富好	医療法人誠心会真山池田医院長
池端敦	岩手県立中央病院医療研修部長
石川洋子	医療法人共生会松園第二病院
佐藤治	医療法人さとう胃腸科内科院長 (胃部読影専門部会長)
小豆嶋正和	医療法人慶友会小豆嶋胃腸科内科クリニック理事長
松本主之	岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野教授

### 委員会顧問

狩野敦	公益財団法人岩手県対がん協会医療顧問
工藤俊雄	医療法人遠山病院
鈴木恒男	(元) 大通胃腸科内科院長

### ■胃部読影専門部会

赤坂威一郎	岩手県立中央病院内視鏡科長・災害医療部次長
池田富好	医療法人誠心会真山池田医院長
江村洋弘	医療法人江村胃腸科内科医院長
大屋敬一郎	大屋内科胃腸科クリニック院長
岡田健男	医療法人健育会岡田消化器科内科医院長
小野満	岩手県立中央病院附属紫波地域診療センター長
小野寺清哉	胃腸クリニック院長
萱場尚一	岩手県立胆沢病院第一消化器内科長
工藤俊雄	医療法人遠山病院
小坂陽一	医療法人七星会小坂内科消化器科クリニック顧問
佐藤治	医療法人さとう胃腸科内科院長
菅原優	(元) 公益財団法人岩手県予防医学協会県南センター
鈴木恒男	(元) 大通胃腸科内科院長
鈴木昇	(元) 緑ヶ丘消化器科内科医院長
栃内秀貴	栃内内科医院長
長澤茂	医療法人三秋会一関中央クリニック名誉院長

中塚明彦 なかつか消化器内科クリニック院長  
 中村義明 中村内科医院長  
 本田健一 医療法人本田胃腸科内科外科院長  
 山岡豊 社会福祉法人清智会理事長  
 吉田俊巳 医療法人緑明会吉田消化器科内科院長

### 3. 生活習慣病健診等専門委員会

旭浩一 岩手医科大学医学部内科学講座腎・高血圧内科分野教授  
 石垣泰 岩手医科大学医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野教授  
 川村実 特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院副院長  
 小松隆 公益財団法人岩手県予防医学協会心臓内科部長（循環器検査専門部会長）  
 關博文 特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院長（脳検査専門部会長）  
 滝川康裕 岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科分野客員教授  
 谷藤泰寛 医療法人泰明会谷藤眼科医院長（眼底検査専門部会長）

#### ■循環器検査専門部会

市川隆 医療法人社団帰厚堂南昌病院第1循環器内科部長  
 小松隆 公益財団法人岩手県予防医学協会心臓内科部長  
 田巻健治 公益財団法人岩手県予防医学協会医局長・循環器科部長  
 千葉直樹 医療法人歷程ちばクリニック院長  
 那須雅孝 医療法人社団恵仁会三愛病院副院長・循環器科部長・総合検査科長  
 野崎英二 岩手県立中央病院参与  
 八木卓也 岩手県立胆沢病院副院長・循環器内科長・救急医療科長

#### ■眼底検査専門部会

朝倉章子 医療法人社団新津あさくら眼科クリニック院長  
 岩見千丈 北上済生会病院眼科科長  
 小田島祥司 (元)小田島眼科院長  
 白井淳一 医療法人社団白井眼科クリニック院長  
 谷藤泰寛 医療法人泰明会谷藤眼科医院長  
 玉田康房 玉田眼科理事長  
 森敏郎 医療法人社団緑翠堂森眼科クリニック院長  
 渡邊敏明 わたなべ眼科医院長

#### ■脳検査専門部会

及川博文 岩手医科大学医学部放射線医学講座特任講師  
 大澤成之 大澤クリニック副院長  
 大澤宏之 大澤クリニック院長  
 菊池貴彦 岩手県立中央病院副院長・地域医療福祉連携室長・地域医療支援部長  
 菅原孝行 公益財団法人岩手県予防医学協会脳神経外科部長  
 鈴木智大 岩手医科大学医学部放射線医学講座特任講師  
 關博文 特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院長  
 原一志 盛岡市立病院脳神経外科長  
 米澤久司 盛岡赤十字病院脳神経内科部長

### 4. 女性健診専門委員会

※編成中

#### ■乳がん検診専門部会

石田茂登男 乳腺外科いしだ外科胃腸科クリニック院長  
 宇佐美伸 岩手県立中央病院乳腺・内分泌外科長  
 大貫幸二 宮城県立がんセンター乳腺外科診療科長  
 石田和茂 岩手医科大学医学部外科学講座講師  
 齊藤純一 ブレスト齊藤外科クリニック院長  
 須原誠 岩手県立中央病院救急医療部長  
 多田隆士 公益財団法人岩手県予防医学協会乳腺外科部長

#### ■婦人科検診専門部会

※編成中

## 5. 小児および学校保健専門委員会

- 小山 耕太郎 社会福祉法人新生会みちのく療育園メディカルセンター施設長（学校心臓検診専門部会委員）  
金濱 誠己 一般社団法人岩手県医師会常任理事  
那須 雅孝 医療法人社団恵仁会三愛病院副院長・循環器科部長・総合検査科長（学校心臓検診専門部会長）  
前多 治雄 前多小児科クリニック院長（小児生活習慣病健診等専門部会長）  
三上 仁 岩手県立中央病院業務企画部長  
山崎 健 医療法人巖心会栃内第二病院いわて脊椎・側弯センター長（脊柱側弯検診専門部会長）

### ■学校心臓検診専門部会

- 上田 寛修 岩手医科大学医学部内科学講座循環器内科分野助教  
遠藤 秀晃 岩手県立中央病院医療安全管理部次長  
小山 耕太郎 社会福祉法人新生会みちのく療育園メディカルセンター施設長  
小泉 淳一 岩手医科大学医学部心臓血管外科学講座准教授  
齋木 宏文 岩手医科大学医学部小児科学講座准教授  
齋藤 明宏 さいとう小児科クリニック院長  
佐藤 陽子 医療法人山口クリニック院長  
高橋 信 独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター内科医長  
滝沢 友里恵 岩手県立中部病院小児科長  
那須 雅孝 医療法人社団恵仁会三愛病院副院長・循環器科部長・総合検査科長  
藤井 裕 一般財団法人みちのく愛隣協会東八幡平病院副院長

### ■脊柱側弯検診専門部会

- 遠藤 寛興 公立刈田総合病院  
大山 素彦 独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター診療部長  
加藤 貞文 かとう整形外科クリニック院長  
土井田 稔 岩手医科大学医学部整形外科学講座主任教授  
長澤 敏明 医療法人社団仁愛会理事長  
双木 慎 医療法人なみき双木整形外科医院長  
村上 秀樹 岩手医科大学医学部整形外科学講座特任教授  
山崎 健 医療法人巖心会栃内第二病院いわて脊椎・側弯センター長  
山部 大輔 岩手医科大学医学部整形外科学講座助教  
吉田 知史 よしだ整形外科クリニック院長

### ■小児生活習慣病健診等専門部会

- 石垣 泰 岩手医科大学医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野教授  
石川 健 岩手医科大学医学部小児科学講座特任教授  
遠藤 幹也 岩手医科大学医学部小児科学講座  
高橋 明雄 子どもは未来もりおかこどもクリニック副院長  
前多 治雄 前多小児科クリニック院長  
三上 仁 岩手県立中央病院業務企画部長

## 6. ウイルス肝炎専門委員会

- 阿部 弘一 あべ菜園内科クリニック院長  
石川 和克 医療法人友愛会盛岡友愛病院  
佐々木 美香 独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター副院長  
滝川 康裕 岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科分野客員教授  
増田 友之 岩手県赤十字血液センター所長  
宮坂 昭生 岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科分野准教授  
吉田 陽悦 岩手県保健福祉部医療政策室長  
滝川 佐波子 一般社団法人岩手県医師会常任理事  
杉江 琢美 岩手県保健所長会副会長（宮古保健所長）

## 5. 施設概要

### ■ Big Waffle

着工	2012（平成24）年12月
竣工	2013（平成25）年11月
敷地面積	19,586.84 m <sup>2</sup>
延床面積	7,912.60 m <sup>2</sup>
フロア	1階 総務部事務室、役員室、医局、会議室、検査室、 健診準備室、ギャラリーホール、健康げんき倶楽部“気楽良”、 ヘルシーレストラン“食楽良” 2階 総合受付、健康診断・人間ドック・レディースフロア、食堂 3階 巡回健診事業部・施設健診事業部・情報管理部・健康推進部・ 医療技術部事務室、医局、読影室、画像処理室、サーバー室、会議室、 休憩室、休養室、出力作業室、倉庫
見取り図	別図

### ■ ふわり

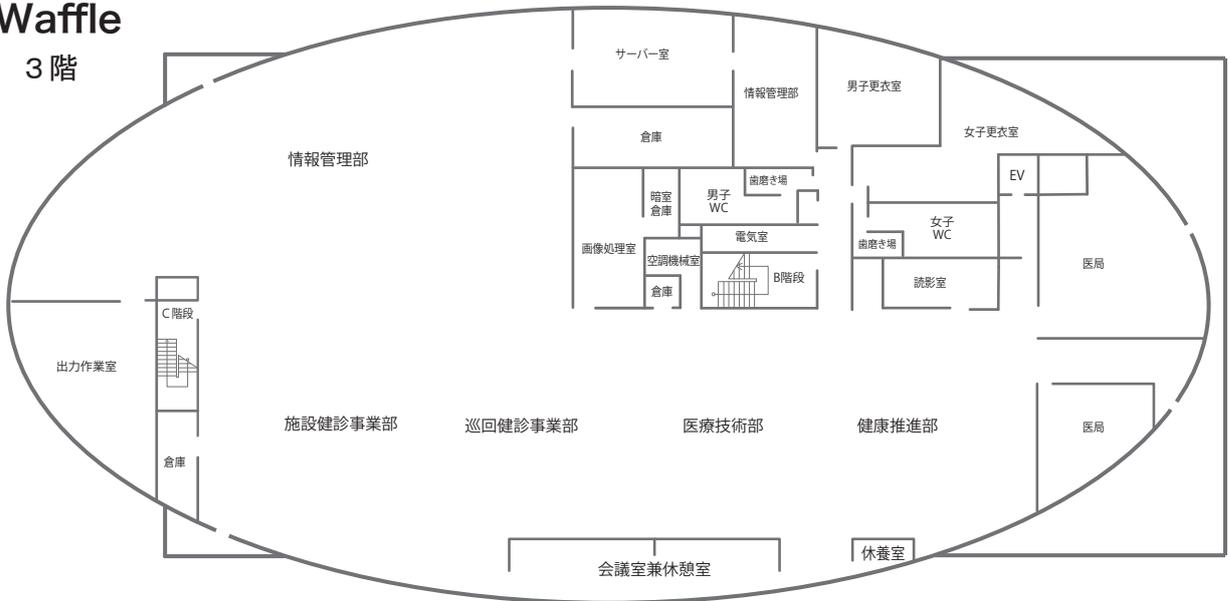
着工	2017（平成29）年4月
竣工	2018（平成30）年3月
延床面積	1,759.54 m <sup>2</sup>
フロア	1階 臨床検査課・環境保健課事務室、学童保育エリア（運動室、学習室）、 男・女休憩室、倉庫 2階 待合ホール、精密検査外来フロア 3階 メンタルヘルスロビー、面接室
見取り図	別図

### ■ 幼老統合施設 Cocoa

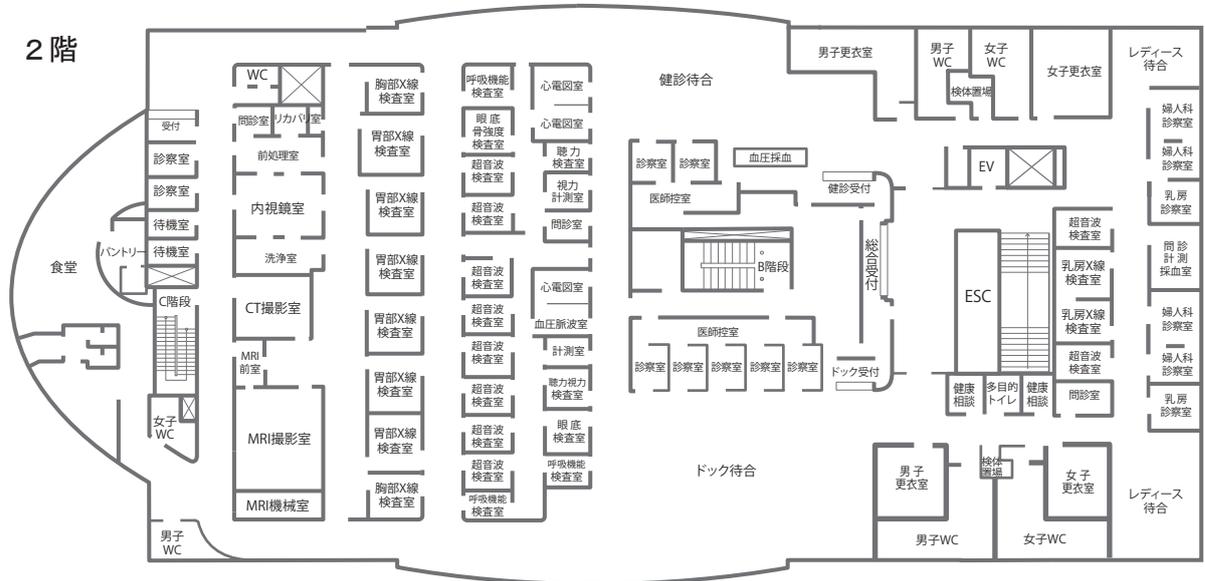
着工	2014（平成26）年8月
竣工	2015（平成27）年2月
敷地面積	3,659.41 m <sup>2</sup>
延床面積	970.53 m <sup>2</sup>
フロア	1階 職員室、休憩室、厨房、医務室 保育エリア（遊戯室、0～5歳児の年齢別各部屋、調乳室、沐浴室） デイサービスエリア（相談室、食堂兼機能訓練室、浴室、洗濯室、静養室） 学童保育エリア（ホール、学習室）
見取り図	別図

# Big Waffle

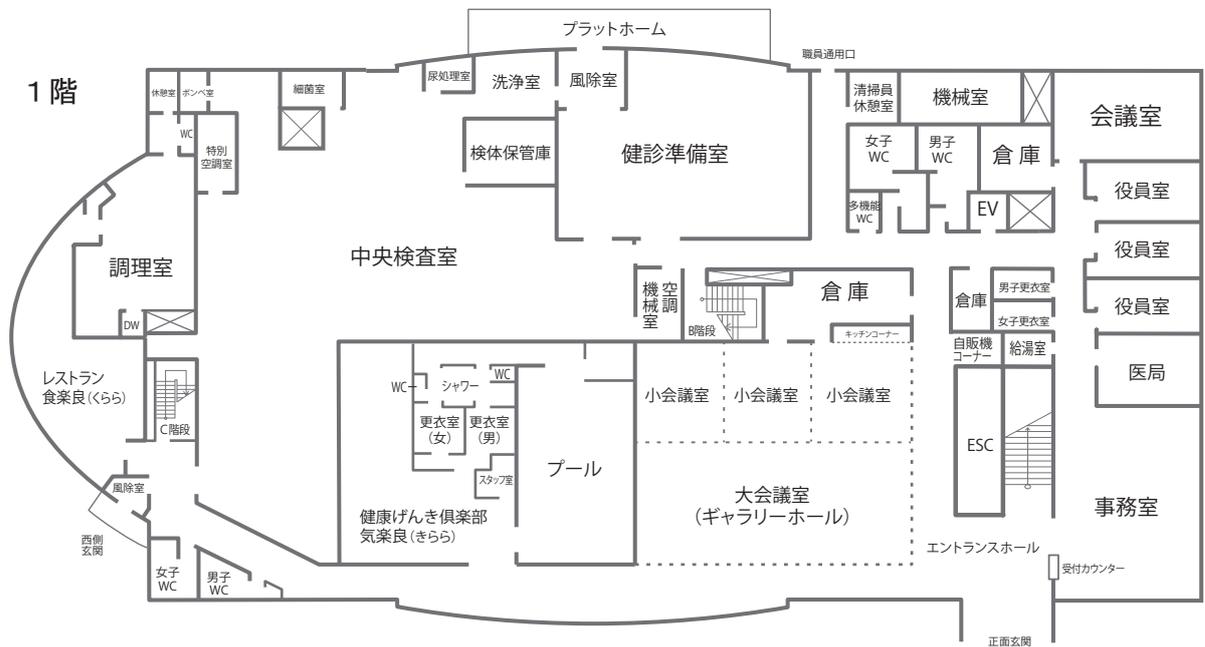
3階



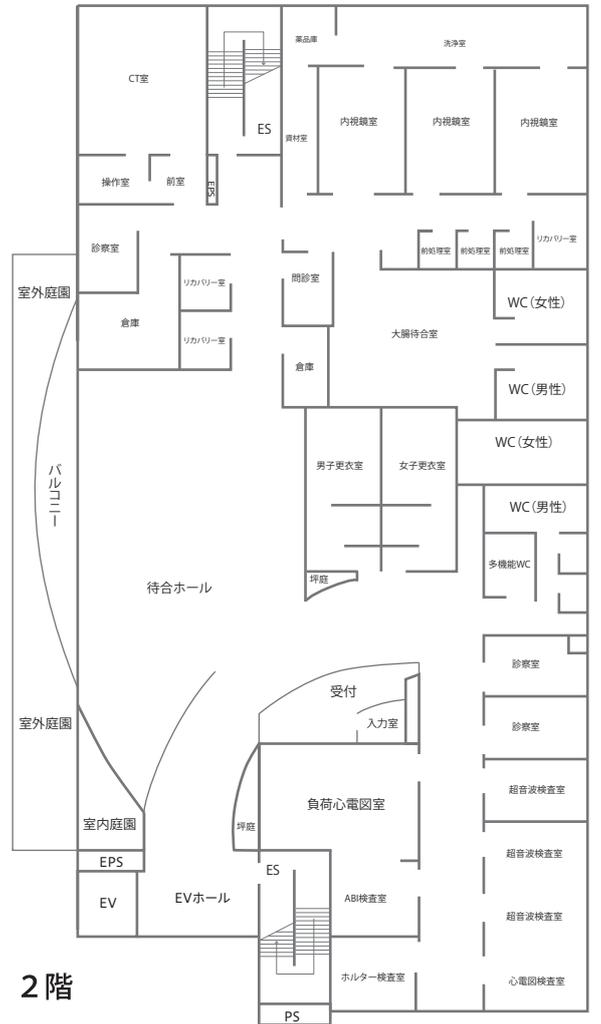
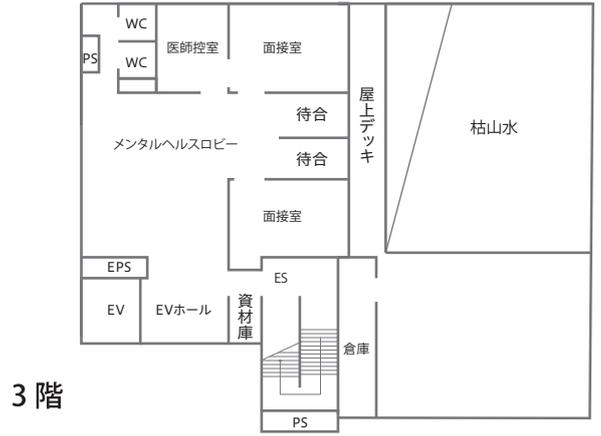
2階



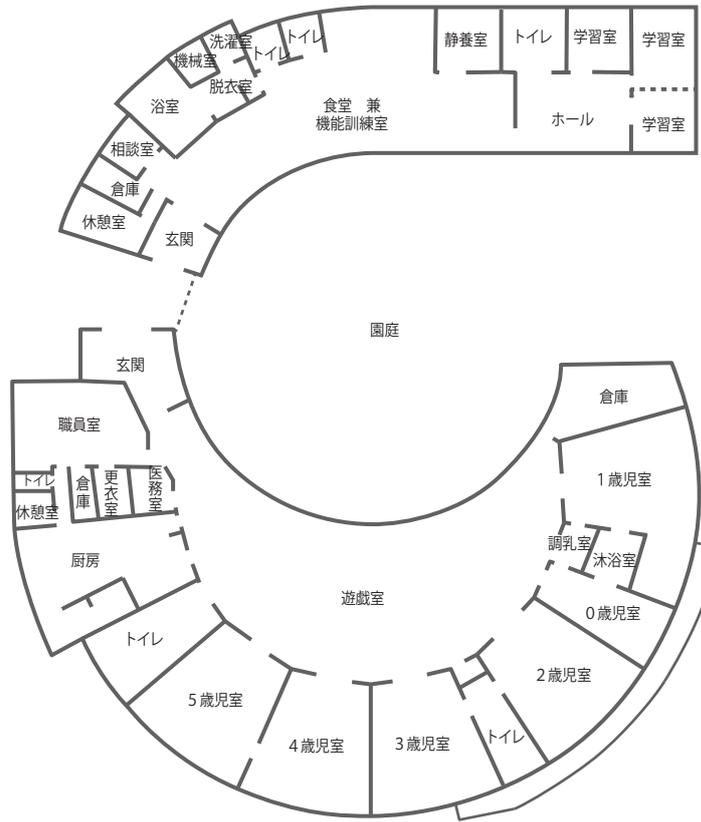
1階



# ふわり



# Cocoa



## ■ 県南センター

着 工 1992 (平成 4) 年 7 月

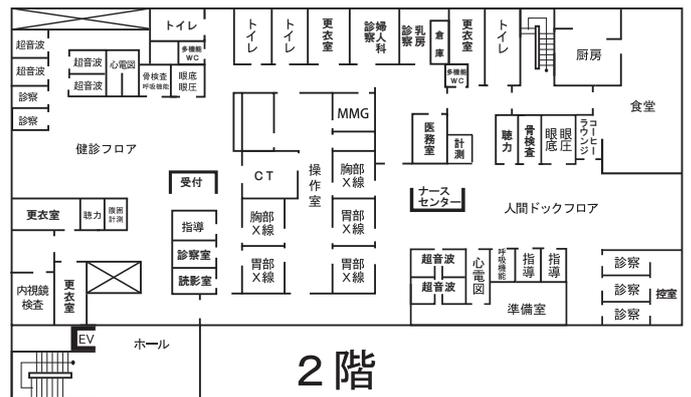
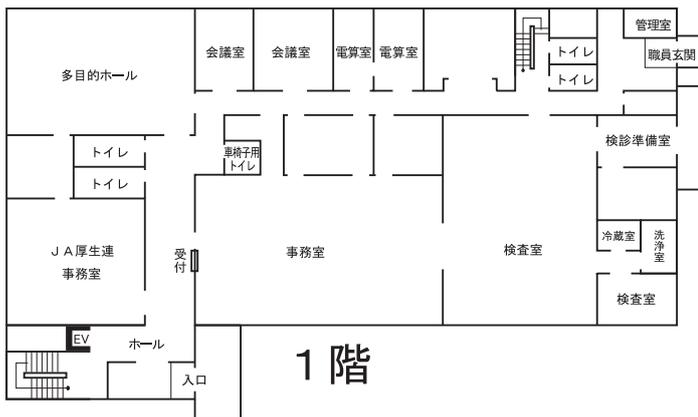
竣 工 1993 (平成 5) 年 10 月

敷地面積 13,443.22 m<sup>2</sup>

延床面積 4,015 m<sup>2</sup>

フロア  
1階 事務室、医局、検査室、多目的ホール、会議室  
電算室、岩手県厚生農業協同組合連合会事務室  
2階 健康診断・一日人間ドックフロア、食堂

見取り図 下図



## 6. 機器整備

### ■検診車

令和5年7月現在

区 分	あおぎり	取得年月	補 助 等	所属管理		
循環器系検診車	1号	平成19. 2	岩手中部広域市町村圏事務組合	BigWaffle		
	2号	令和4. 1	-			
	3号	〃4. 3	-			
	6号	平成16. 11	-			
	7号	〃24. 5	-			
	10号	〃23. 4	-			
	12号	〃28. 3	-			
	13号	〃29. 3	-			
	14号	令和4. 3	-			
	16号	平成9. 10	-			
	17号	〃10. 8	岩手県			
	18号	〃12. 9	宝くじ			
	19号	令和5. 2	-			
	4号	平成12. 2	-		県南センター	
	5号	〃26. 8	-			
	8号	〃31. 1	-			
	15号	〃5. 7	-			
	胸部X線検診車	25号	平成25. 5		-	BigWaffle
		28号	〃31. 3		-	
29号		〃27. 3	-			
30号		〃23. 3	-			
32号		令和2. 1	-			
33号		平成29. 2	-			
34号		令和2. 2	-			
35号		平成24. 3	-			
40号		〃18. 9	宝くじ			
41号		〃19. 12	日本財団			
71号		〃15. 12	岩手中部広域市町村圏事務組合			
72号		〃28. 3	-			
75号		〃25. 3	JA 共済連			
76号		〃30. 3	-			
21号		平成31. 1	-	県南センター		
23号	〃23. 3	-				
26号	〃31. 3	-				
27号	令和2. 1	-				
38号	平成11. 11	-				
胃部X線検診車	80号	令和4. 12	JKA	BigWaffle		
	81号	平成22. 3	-			
	82号	〃29. 9	-			
	84号	〃28. 2	JKA			
	85号	〃29. 12	宝くじ			
	47号	平成17. 11	日本自転車振興会			
	83号	〃25. 2	JKA			
	86号	令和1. 8	-		県南センター	
87号	〃1. 8	-	BigWaffle			
50号	令和2. 9	-				
婦人科検診車	51号	平成14. 3	-	県南センター		
	56号	平成9. 6	-	BigWaffle		
超音波検診車	57号	〃8. 5	滋賀研究保健センターより譲渡			
	乳房検診車	60号	令和5. 1	-	BigWaffle	
61号		平成14. 4	-			
62号		令和2. 9	-			

## ■施設装置・検診車装置

機器名	メーカー・機種	台数
胸部X線撮影装置	島津 UD-150 L40E 他	4
	キヤノン MXO-15B 他	1
	富士 DHM-152TH 他	3
	富士 RADNEXT CS 他	17
	大林 TRB9020H	1
胃部X線装置	富士 EXAVISTA	3
	富士 DHF-153VMS TU-MA5Plus	1
	富士 DHF-153VH II TU-M600	1
	キヤノン Plssart50	1
	キヤノン SREX-D32C	2
	富士 ESPACIO AVANT	5
	富士 DIAVISTA Luce	6
乳房X線撮影装置	キヤノン Raffine-i	2
	富士 AMULET-s 他	3
	キヤノン MGU 100D	1
CT	メイソンアコマ Pinkview-AT	3
	シーメンス SOMATOM Emotion6	1
	キヤノン Aquilion Lightning/Helios Edition	2
MRI	富士 SCENARIO	1
	キヤノン VantageTitan 1.5T	1
成人用心電計	富士 ECHELON Smart 1.5T	1
成人用心電計	フクダ電子・FCP8221 他	57
学童用心電計	フクダ電子・ECP7641 他	10
血圧脈波検査装置	フクダ VS-1500ATN 他	4
	フクダ VS-3000TN	2
スパイロメーター	チェスト HI-801	15
	フクダ電子 SP-470	3
超音波診断装置	キヤノン Xario-X100G	3
	富士フィルムヘルスケア・ARIETTA 750SE 他	7
	富士フィルムヘルスケア・ProsoundF75	3
	富士フィルムヘルスケア・SSD-α7	1
	キヤノン TUS-A400 (Aplio400)	7
	キヤノン SSA-640A (Viamo)	2
	キヤノン SSA-660A (Xario)	2
	キヤノン SSA-700A (Aplio50)	2
	キヤノン CUS-AA000/J3 verifia	1
	キヤノン CUS-AA450/J3 (Aplio a450)	4
	GE Vivid E90 他	5
	フィリップス iE33	1

機器名	メーカー・機種	台数
超音波骨評価装置	富士フィルムヘルスケア AOS-100NW 他	9
眼底カメラ	キヤノン CR-2 PLUS AF 他	18
	キヤノン CR-DG10・Dgi 他	11
眼圧計	トプコン TRC-NW400	4
	キヤノン TX-20P 他	4
視野スクリーニング検査機器	キヤノン TX-F	2
血液学検査装置	ZEISS・ハンフリー FDT スクリーナー	1
	シスメックス XN9000	1
液状処理細胞診前処理装置	シーメンス ADVIA2120i	1
液状処理細胞診塗抹装置	日本 BD トータス D-Cube	1
生化学自動分析装置	日本 BD トータススライドブレップ	1
全自動免疫測定装置	日立 LABOSPECT 008	2
	日本電子 BioMajesty JCA-BM9130	2
免疫測定発光装置	シスメックス HISCL-5000R	1
便潜血自動分析装置	富士レビオ ルミバルス L2400	1
全自動尿沈査分析装置	栄研化学 OC センサー PLEDIA	2
全自動尿分析装置	シスメックス UF5000	1
顕微鏡	栄研化学・US3500	4
	オリンパス・BX-43F 他	14
内視鏡システム	ニコン・エクリプス 80i 他	3
経陰用超音波診断装置	オリンパス・EVIS LUCERA ELITE 他	5
脊柱側弯症検査装置	シーメンス ソノビスタ FX 他	5
高速液体クロマトグラフ	エーアンドエーシステム ABS-1000 S 他	2
ガスクロマトグラフ	Agilent 1260 Infinity LC システム	1
粉じん計	島津 Prominence-i	1
	島津 GC-2014 他	4
振動感覚計	柴田科学 LD-5R 他	8
VDT視力計	日本カノマックス MODEL3422	2
VDT近点計	リオン AU-O 2B	2
オートレフラクトメーター	トーメー NS-050 他	12
	ニデック VNP-200	2
タッピング測定器	東和 NS-100	2
X線回析装置	トーメー RC-5000	1
	ニデック AR-330A	1
	竹井機器工業 TKK1347	3
	BRUKER D2 PHASER 2nd Generation	1

## 7. 精度管理実施状況

### ■内部精度管理

検査データの正確性・精密性の維持向上を目的とし日々実施している。検体の取り違え、検体運搬・保存方法など検査前の管理から、サンプリング方法・分析機器の管理コントロールを用いての日差・日内変動などをチェックし、検査結果の評価を行っている。

### ■外部精度管理

コントロールサーベイやクロスチェックにより、他施設との比較を行い自施設の検査精度・検査データの正確度を評価している。客観的な正確度の評価を行い、精度・技術の向上に繋げており、当協会は常に高い評価を得ている。

主に下記団体主催の精度管理調査に参加している。

日本医師会	日本総合健診医学会
岩手県医師会	予防医学事業中央会
日本臨床衛生検査技師会	全国労働衛生団体連合会
岩手県臨床衛生検査技師会	日本作業環境測定協会
日本診療放射線技師会	結核予防会

### ■技術研修

内部・外部精度管理のほか、主に下記団体主催の学会・研修会へ参加し、知識や技術の向上等に努めている。

科	目	主催団体及び講習会名称
胸部 X 線		結核予防会放射線技師研修会
胸部 C T		結核予防会胸部検診対策委員会胸部画像精度管理研究会 日本 CT 検診学会
胃部 X 線		日本消化器がん検診学会および東北地方会
大腸 C T		日本消化器画像診断情報研究会 日本消化器がん検診精度管理評価機構研修会 岩手消化管撮影研究会 岩手胃がん X 線検診勉強会 岩手県 CT 研究会 東北消化管 CT 技術研究会
脳 M R I		日本脳ドック学会 岩手 MRI 研究会
乳房検査		日本乳がん検診精度管理中央機構講習会 日本乳癌検診学会 日本乳癌学会東北地方会 日本乳腺甲状腺超音波医学会 いわて乳腺疾患フォーラム

超 音 波	日本超音波医学会および東北地方会 日本超音波検査学会および東北地方会 日本消化器がん検診学会および東北地方会 日本心エコー図学会 岩手心エコー図研究会 ECHO TOHOKU みちのく超音波研究会 東北血管エコーセミナー 岩手腹部超音波研究会
心 電 図	日本不整脈心電学会 日本小児循環器学会
臨 床 検 査	日本検査血液学会 日本公衆衛生学会 日本臨床細胞学会 岩手県臨床細胞学会 細胞検査士教育セミナー 岩手県医師会臨床検査精度管理セミナー 岩手県感染症検査ネットワーク研修会
環 境 調 査	日本作業環境測定協会 中央労働災害防止協会
検 査 部 門 共 通	予防医学事業中央会全国予防技術研究会議および研修会 日本臨床衛生検査技師会 日臨技北日本支部部門研修会 (生理機能、血液、一般検査、生物化学分析、病理の各部門) 岩手県臨床衛生検査技師会 岩手糖尿病研究会
全 般	日本人間ドック学会 全国労働衛生団体連合会 日本総合健診医学会

## 8. 許可・認可等

作業環境測定機関 第3-2号  
 特定健康診査機関・特定保健指導機関  
 全国健康保険協会管掌健康保険健診実施機関  
 労災保険二次健康診断・特定保健指導指定機関  
 労働衛生サービス機能評価認定 第81号認定機関  
 結核予防会 JATA 健康ネットワーク事業実施機関

---

予防医学事業中央会ヘルスアップネット健診実施機関  
全国労働衛生団体連合会会員協助制度提携機関  
日本総合健診医学会優良総合健診施設  
日本乳がん検診精度管理中央機構・マンモグラフィ検診施設・画像認定施設  
日本臨床細胞学会認定施設  
日本長寿医療研究センターコグニサイズ促進協力施設  
プライバシーマーク付与認定 第14200087号  
肺がんCT検診認定機構認定施設  
日本消化器がん検診学会大腸CT検査技術認定施設

---

## 9. 全国組織とのかかわり

---

公益財団法人予防医学事業中央会（岩手県支部）  
公益財団法人結核予防会（岩手県支部）  
公益社団法人全国労働衛生団体連合会会員  
公益社団法人日本作業環境測定協会会員  
公益社団法人日本人間ドック学会会員  
一般社団法人日本総合健診医学会会員

---

## 10. 付属診療所

---

保険医療機関  
労災保険指定医療機関  
結核指定医療機関  
生活保護法及び中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び  
永住帰国後の自立の支援に関する法律に基づく指定医療機関

---

事業年報 第52号（令和4年度報告）

2023年（令和5年）12月発行

発行者 本間 博

編集 巡回健診事業部企画広報課企画広報渉外係

発行所 公益財団法人岩手県予防医学協会

〒020-8585 岩手県盛岡市北飯岡四丁目8番50号

電話 019-638-7185

HP [www.aogiri.org](http://www.aogiri.org)

印刷 山口北州印刷株式会社

## いつも身近に あなたの健康サポーター



### 営業時間

月～金 11:00～15:00

(ランチ 11:00～14:00)

お休み 土・日・祝日他

\*詳しくはホームページをご確認ください



定番スイーツのほかに、季節に合わせたスイーツを提供しています。

岩手を健康に！食を楽しみ良い人生を！をコンセプトに、食事の『バランス』『適量』『適塩』を体験でき、どなたでもご利用いただけるレストランです。

管理栄養士によるメニューで、生活習慣病予防（高血圧予防など）をテーマに週替わりで提供する「ヘルスアップランチ」がおすすめです。



### 営業時間

月～金 10:00～20:30

土 10:00～17:00

ジム最終入室 終了30分前まで

プール最終入室 終了60分前まで

お休み 日・祝日他

\*詳しくはホームページをご確認ください



ウォーキング専用プールを併設

「メタボにならないためには、どうしたらいいの？」  
「ダイエットに挑戦しても、うまくいかない・・・」  
そんなあなたの健康づくりを健康げんき倶楽部が応援します。

健康げんき倶楽部は会員制のトータルヘルスサポートシステムです。あなたにぴったりの健康づくりを専門スタッフがサポートします。





協会キャラクター「アーリー」



すこやかに生きる力を

公益財団  
法人

岩手県よぼういがく協会